

3-3 資料館・記念館

(1) 施設の概要、設置状況

資料館・記念館は、以下の設置条例に基づき設置され、各種資料展示や企画展示、施設見学などの事業を行っています。

＜資料館、記念館設置条例一覧＞

- ・芭蕉翁記念館及び菰虫庵条例
- ・旧小田小学校本館の設置及び管理に関する条例
- ・史跡旧崇廣堂の設置及び管理に関する条例
- ・上野歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例
- ・城之越遺跡の設置及び管理に関する条例
- ・入交家住宅の設置及び管理に関する条例
- ・大山田郷土資料館の設置及び管理に関する条例
- ・伊賀越資料館条例
- ・柘植歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例

施設名称	地区	所管課	施設延床面積	駐車場	運営形態	設置根拠	備考
菰虫庵	上野	企画課	268.35㎡	有	指定管理	芭蕉翁記念館及び菰虫庵条例	芭蕉翁顕彰会に指定管理
芭蕉翁記念館	上野	企画課	425.00㎡	無	指定管理	芭蕉翁記念館及び菰虫庵条例	芭蕉翁顕彰会に指定管理
旧小田小学校 本館	上野	文化財室	274.42㎡	有	指定管理	旧小田小学校本館の設置及び管理に関する条例	昭和50年3月27日、県指定有形文化財に指定、公益財団法人伊賀市文化都市協会に指定管理
旧崇廣堂	上野	文化財室	613.00㎡	無	指定管理	史跡旧崇廣堂の設置及び管理に関する条例	明治4年(1871)まで藩校として使用、公益財団法人伊賀市文化都市協会に指定管理
上野歴史民俗資料館	上野	文化財室	720.00㎡	有	指定管理	上野歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例	公益財団法人伊賀市文化都市協会に指定管理
城之越遺跡学習館	上野	文化財室	226.20㎡	有	指定管理	城之越遺跡の設置及び管理に関する条例	公益財団法人伊賀市文化都市協会に指定管理
入交家住宅	上野	文化財室	241.00㎡	無	指定管理	入交家住宅の設置及び管理に関する条例	公益財団法人伊賀市文化都市協会に指定管理
阿山ふるさと資料館	阿山	文化財室	388.82㎡	有	一部委託		
大山田郷土資料館	大山田	文化財室	242.30㎡	有	一部委託	大山田郷土資料館の設置及び管理に関する条例	
伊賀越資料館 (鍵屋の辻遺跡)	上野	観光戦略課	148.00㎡	有	一部委託	伊賀越資料館条例	

表2-3-7 資料館、記念館の一覧

なお、上記の他、柘植歴史民俗資料館（柘植公民館内）でも同様のサービスを行っています。



芭蕉翁記念館



旧崇廣堂

(2) 施設の状況

資料館・記念館を構成している19棟の老朽化率の平均は83.4%となっています。文化財に指定されている施設※79も多く、一部の建物を除き耐震性が低くなっています。

施設名称	建物名称	延床面積	建築年度	老朽化率	主体構造	耐震性	大規模改修	建物性能
蓼虫庵	蓼虫庵	66.11㎡	平成5年度	100.0%	木造	無	無	1.0点
	管理棟	116.69㎡	平成5年度	100.0%	木造	無	無	
	茶室	85.55㎡	平成6年度	100.0%	木造	無	無	
芭蕉翁記念館	別館	99.00㎡	昭和34年度	100.0%	鉄筋コンクリート	無	無	1.4点
	博物館	326.00㎡	昭和34年度	100.0%	鉄筋コンクリート	無	無	
旧小田小学校 本館	資料館	274.42㎡	昭和50年度	100.0%	木造	無	無	1.0点
旧崇廣堂	講堂	204.00㎡	平成5年度	100.0%	木造	無	無	1.0点
	北控所	125.00㎡	平成6年度	100.0%	木造	無	無	
	表門	95.00㎡	昭和59年度	100.0%	木造	無	無	
	有恒寮	50.00㎡	平成5年度	100.0%	木造	無	無	
	玄関棟	139.00㎡	平成5年度	100.0%	木造	無	無	
上野歴史民俗資料館	資料館	720.00㎡	平成9年度	35.1%	鉄骨造	有	無	3.2点
城之越遺跡学習館	資料館	226.20㎡	平成7年度	40.5%	鉄骨造	有	無	3.1点
入交家住宅	文化財2	45.00㎡	平成13年度	100.0%	木造	無	無	1.0点
	文化財1	196.00㎡	平成13年度	100.0%	木造	無	無	
阿山ふるさと資料館	資料館	388.82㎡	平成7年度	40.5%	鉄骨造	無	無	3.1点
大山田郷土資料館	資料館	242.30㎡	平成3年度	79.8%	木造	有	無	2.0点
伊賀越資料館 (鍵屋の辻遺跡)	資料館	82.00㎡	平成5年度	71.4%	木造	有	無	1.0点
	数馬茶屋	66.00㎡	平成5年度	85.0%	木造	有	無	

表2-3-8 建物性能一覧表

資料館、記念館の建物性能評価点を施設単位で比較した図2-3-18のグラフでは、用途内の平均点（1.8点）は全施設の平均（2.7点）を大きく下回っています。個別施設で見ると、蓼虫庵、旧小田小学校、旧崇廣堂、入交家住宅がそれぞれ1.0点となっています。これは、1800年代に建築されており、文化財に指定されているためです。

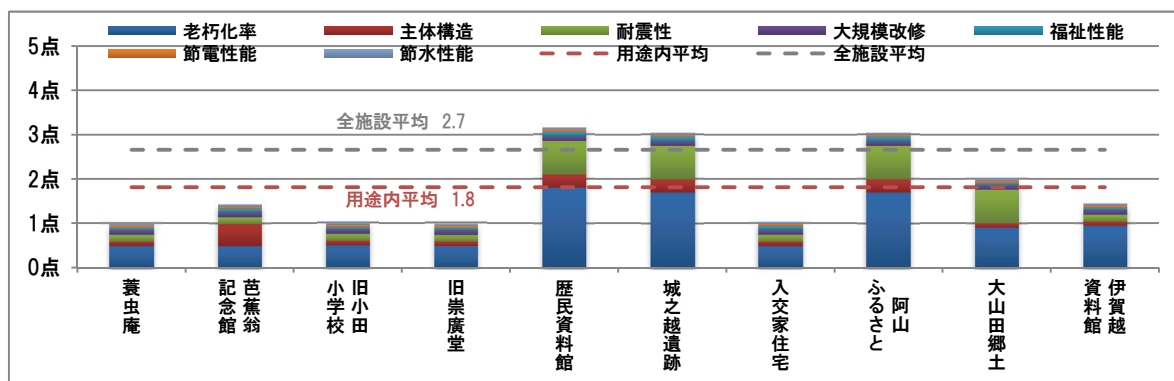


図2-3-11 建物性能評価点の比較（5点満点）

※79 文化財となっている蓼虫庵、旧小田小学校、旧崇廣堂、入交家住宅については、建築年月日が不明なため、移築や改築などを行った年度を建築年度として記載しています。

(3) 財務の状況

図2-3-12は、保有コストの過去3年間の推移と面積当たり保有コストを比較したグラフです。資料館・記念館全体の保有コストは（6,949千円/年）となっています※80。

なお、旧小田小学校、旧崇廣堂、入交家住宅に関しては、老朽化率が100%で減価償却費がかかっていないため保有コストはほとんどかかっていません。

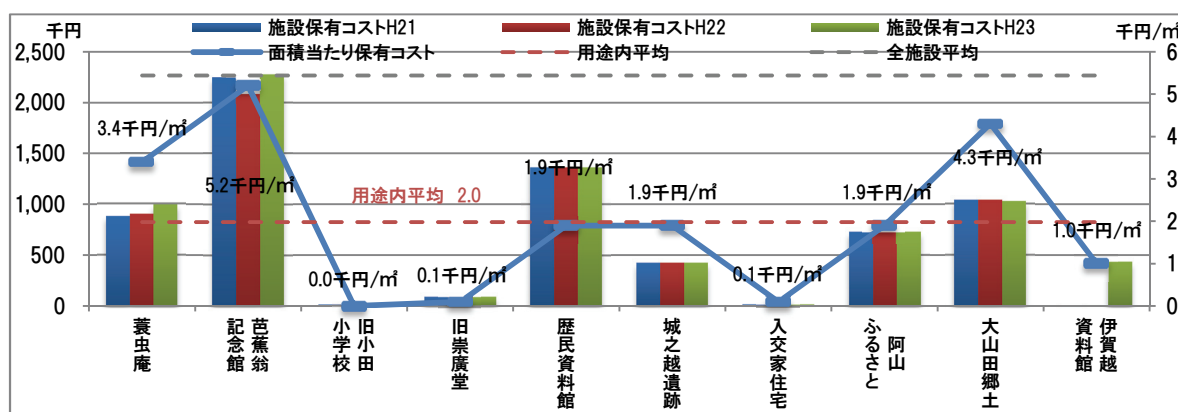


図2-3-12 施設保有コストの推移と面積当たり保有コストの比較

利用者一人当たり総コストについては、芭蕉翁記念館、阿山ふるさと資料館が5,000円/人を超えています（平均は2,372千円/人）。一方で、多くの施設では2,000円/人以下となっています。

なお、最も少ない伊賀越資料館（452円/人）と最も多い芭蕉翁記念館（5,883円/人）では、10倍以上の差が生じています。

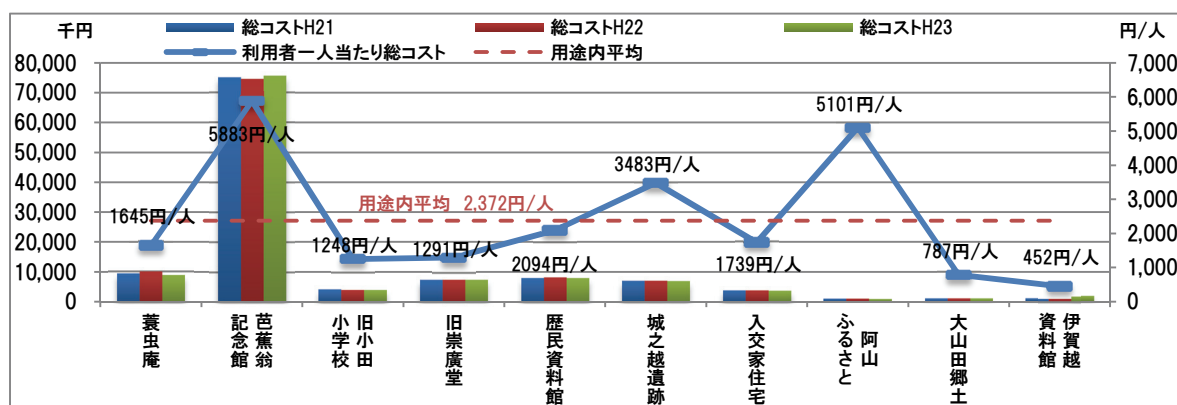


図2-3-13 総コストの推移と利用者一人当たり総コストの比較

※80旧小田小学校、旧崇廣堂、上野資料館、城之越学習館、入交家住宅は指定管理者制度を導入しているため、光熱水費などがかかっていません。養虫庵、芭蕉翁記念館については一部修繕費などがかかっています。

(4) 供給の状況

資料館、記念館の直近の利用者数は、158人から12,753人となっています。過去3年間の利用者数の増減率を比較すると、117.7%の増加から55.4%の減少となっており、施設間で増減傾向が大きく異なります。

施設名称	利用者数_H21	利用者数_H22	利用者数_H23	増減率	過去4年間の最大利用者数	稼働率
養虫庵	7,867 人	5,938 人	5,709 人	-27.4%	7,867 人	82.7%
芭蕉翁記念館	18,285 人	12,814 人	12,753 人	-30.3%	18,285 人	79.9%
旧小田小学校 本館	2,464 人	2,194 人	3,244 人	31.7%	3,244 人	81.2%
旧崇徳堂	3,606 人	3,528 人	5,590 人	55.0%	5,590 人	75.9%
上野歴史民俗資料館	5,797 人	3,538 人	3,781 人	-34.8%	5,797 人	75.4%
城之越遺跡学習館	1,198 人	1,293 人	2,005 人	67.4%	2,005 人	74.7%
入交家住宅	985 人	1,234 人	2,144 人	117.7%	2,144 人	67.8%
阿山ふるさと資料館	354 人	538 人	158 人	-55.4%	538 人	65.1%
大山田郷土資料館	2,139 人	1,887 人	1,467 人	-31.4%	2,139 人	85.6%
伊賀越資料館(鍵屋の辻遺跡)	4,057 人	3,225 人	2,974 人	-26.7%	4,057 人	84.3%

表 2-3-9 資料館、記念館の利用状況

資料館、記念館については、定員に対する稼働率（定員の算出が困難なため、過去の4年間の最大利用者数を定員と見なしました※81）を指標として比較を行いました。

稼働率の平均は77.3%となっていますが、入交家住宅や阿山ふるさと資料館は70%未満となっています。

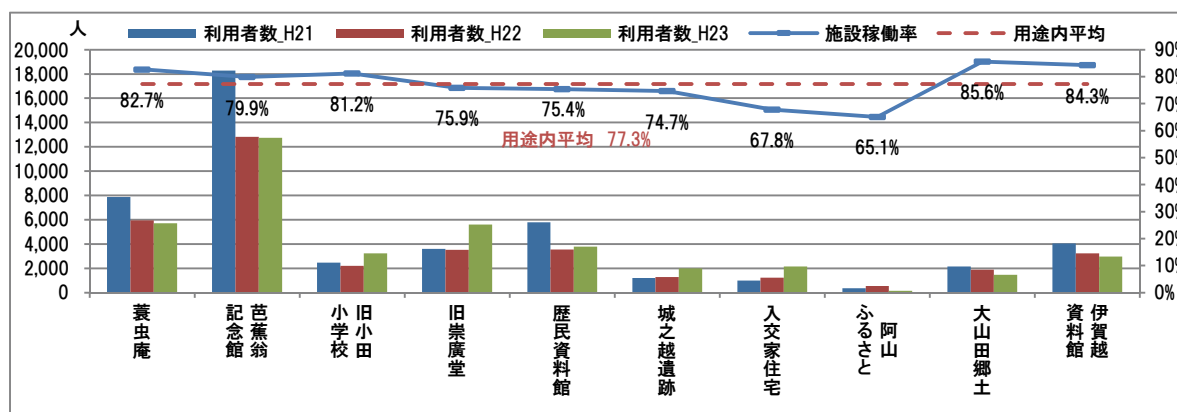


図 2-3-14 利用者数の推移と施設稼働率の比較

※81 「平成 23 年度版伊賀市統計書」<http://www.city.iga.lg.jp/kbn/00555/00555.html> の「79. 施設別観光客入込数」より過去の最大利用者数を定員としました。

(5) 施設配置状況及び需給の動向

資料館・記念館は、サービス供給エリアを各支所（上野資料館、阿山資料館、大山田資料館）、全市（その他施設）とし、需要者を全年齢と設定しました。需要者一人当たりの供給状況を比較すると、阿山支所エリアが2.22、大山田支所エリアが2.03と、需給バランスが平均の1.00を超えています。

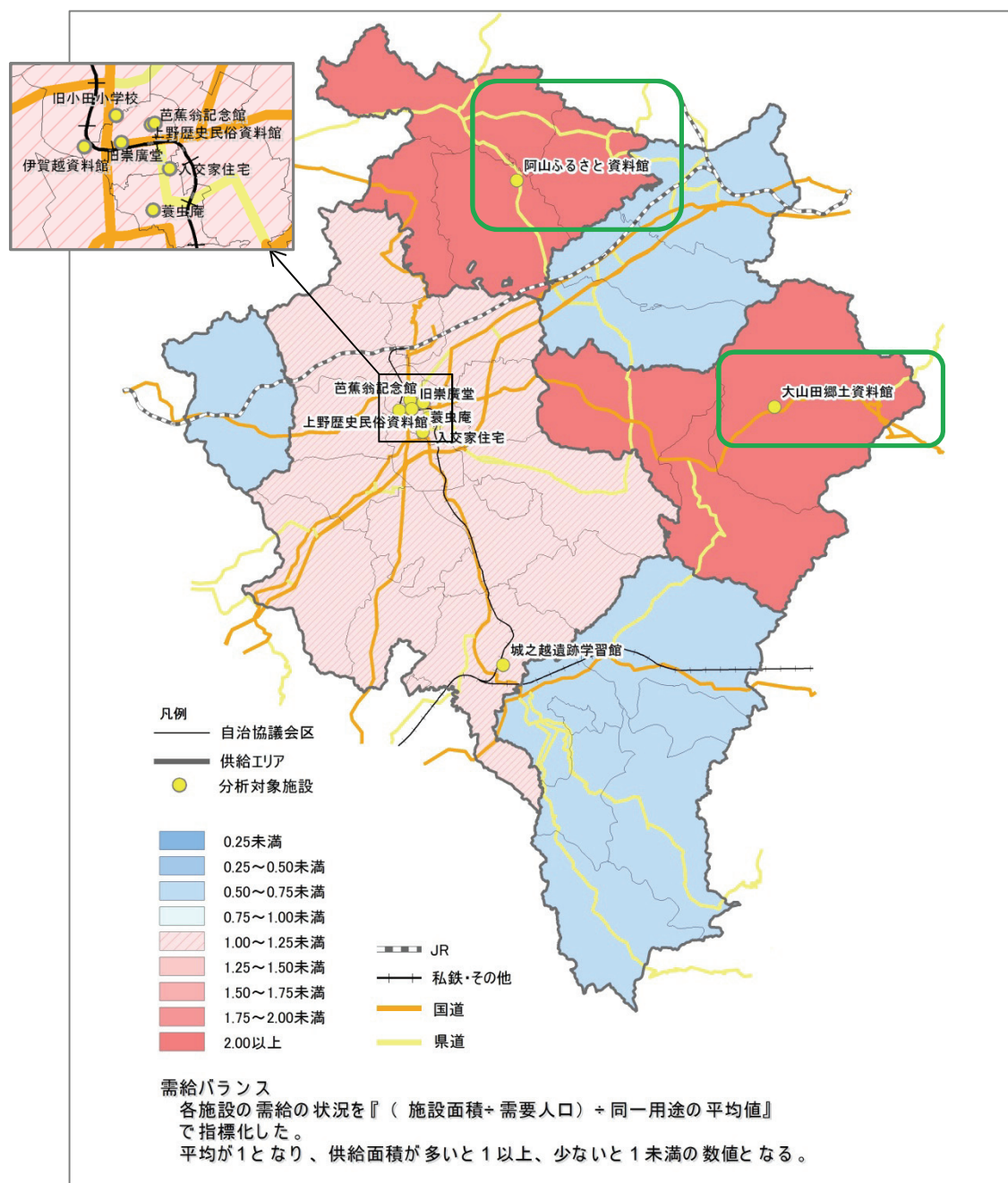


図2-3-15 需要人口（平成22年10月1日時点）一人当たりの施設供給量の比較

また、需要人口の将来推計からは、平成22（2010）年度の97,207人から平成47（2035）年度には70,358人と、27.6%の減少が見込まれます。

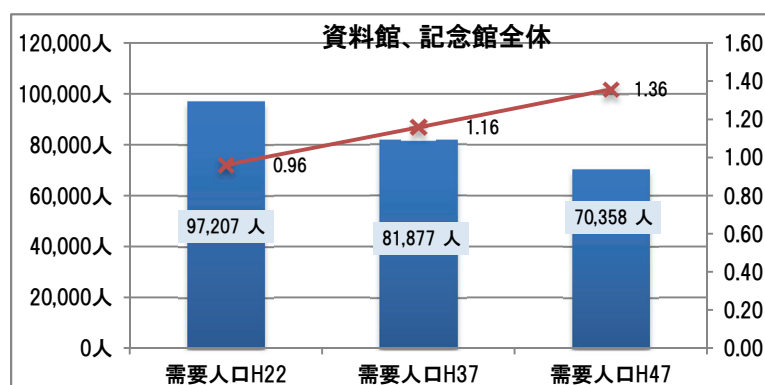


図2-3-16 資料館・記念館の需要人口と需給バランスの将来推計

また、個別エリアの将来推計からは、阿山支所エリアの需給バランスが2.22から3.15、大山田支所エリアの需給バランスが2.03から2.98へと変化することが見込まれます。

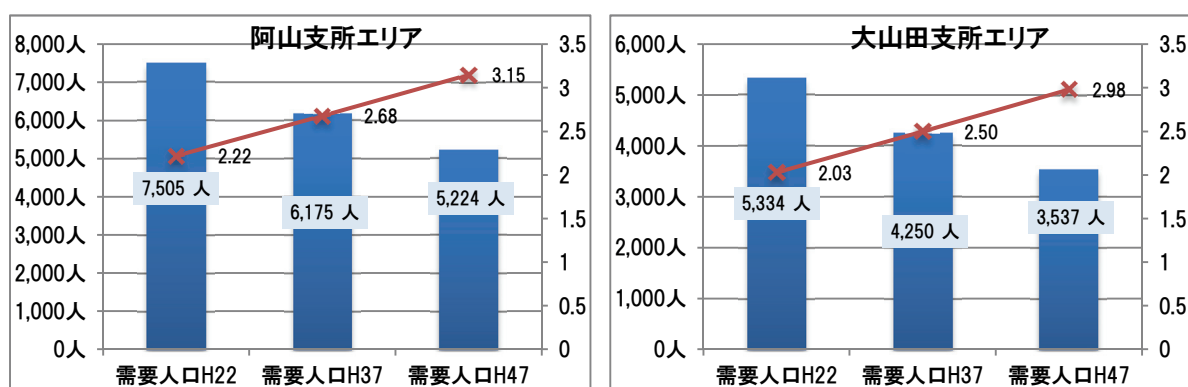


図2-3-17 需要人口と需給バランスの将来推計（阿山、大山田）

上記までの需給動向の推移から、阿山支所及び大山田支所エリアを中心に、将来的には、需要人口に対して現在の供給量がより余裕傾向となっていくことが想定されます。

(6) 現状と課題

<施設>

文化財を有しているため、全体の老朽化率は83.4%と老朽化率が高くなっています。また、文化財以外にも、芭蕉翁記念館は耐用年数を超過しており、更新の是非や建替えなどを早急に検討する必要があります。

<財務>

指定管理者制度を導入しているため、総コスト117,621千円/年のうち、指定管理料及び事業運営委託費が85,638千円/年と72.8%と大きな割合を占めています。また、利用者一人当たりコストでは、10倍以上の差が発生している施設があります。

<供給・需給>

施設の規模や利用者数が施設ごとに大きくことなっていますが、全体として利用者は減少傾向にあります。また、特に支所エリアを対象としている施設については、将来的な需要者数の減少が想定されるため、規模の適正化などの検討が必要と考えられます。

なお、個別施設の定員や利用者数の目標値を設定することで、利用率の向上策を検討することが考えられます。

